

成績評価について

教育企画部

科目別の成績評価

仙台大学では、まず科目別に5段階で評価します。



[事例] 「体育原理」:優、「総合英語B」:良、「水泳」:秀……………

単位／単位数

学習量をはかるための基準で、科目ごとに定められています。

具体的には1単位、2単位、4単位、6単位の科目があります。

[事例] 「スポーツ社会学」:2単位、「総合英語A」:1単位、「柔道」:1単位……

※なお、卒業に必要な総単位数は、124単位です。

GPAとは？

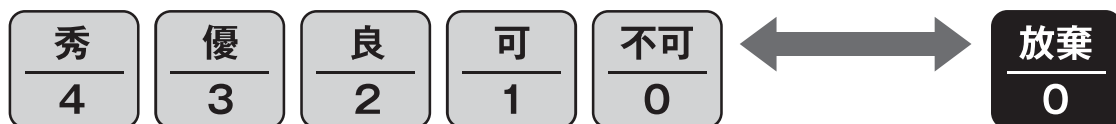
学生の成績全体が一目でわかるようにした「評価指標」です。

[事例] Aさんは2.5、Bさんは3.2、……Nさんは◇.△

GPAの計算は？

仙台大学では、上図の5段階評価ごとに点数を決めています。

(これをGPAポイントと呼びます。)



この点数(GPAポイント)を使って計算します。

具体的には以下の公式に「成績別の単位数」を入れます。

$$\text{GPA} = \frac{4 \times (\text{秀の修得単位数}) + 3 \times (\text{優の修得単位数}) + 2 \times (\text{良の修得単位数}) + 1 \times (\text{可の修得単位数})}{\text{履修した科目の単位数を合計した「総単位数」}}$$

※この中には「不可」と「放棄」の単位数が含まれるので、「不可」「放棄」が増えるほど成績は低くなります。

高得点者への優遇措置など、GPAの活用方法

- ・次ページで説明する「CAP制」の特別枠があたえられます。
- ・GPAを用いて、成績の良くない学生への指導を迅速に行います。 etc.

除外科目

一部例外的に「認定」と「不可」「放棄」だけで評価する科目がありますが、これらの「認定科目」についてはGPAの対象から外します。

CAP制について

教育企画部

CAP制とは？

仙台大学では、1年間に履修できる単位数に上限を設けています。これがCAP制です。その結果、履修できる科目数も制限されることになります。

(他大学では半年間の履修単位を制限する場合もあります。)

CAP制は帽子を指す英語capに由来し、「帽子をかぶせる」つまり「上限」を設ける制度一般をこう呼んだりもします。

具体的なCAP(履修単位の上限)

49単位

卒業に必要な総単位数: 124単位

・ $124 \div 4(\text{年}) = 31$ 単位(1日2~3科目)

・ $31 + \text{資格取得のための加算分}(18) = 49$

なぜCAP制なのか

- ・ 学生が「確かな学士力」を身につけて卒業するために設けられた制度です。
- ・ 予習・受講・復習を確実にを行い知識・技術・技能を十分に身につけるためには、過剰な履修を慎む必要があります。CAP制はこのことを徹底するための仕組みです。(なおこの仕組みは、国・文部科学省の方針に基づくものです。)

CAP制の対象となる科目

- ・ すべての科目が対象となるわけではありません。
- ・ 対象となるのは、『学生便覧』に記載された科目のうち「基礎科目」、「専門基礎科目」、「発展科目」、「応用科目」、「資格関連科目(子ども運動教育学科のみ)」という分類に属する科目です。

除外科目

「認定」と「不可」・「放棄」だけで評価する「認定科目」については、CAP制の対象から外します。

CAP制の特別枠

成績優秀者には履修できる単位数が加算されます。

前年度のGPA	
2.0ポイント以上	49単位 + 8単位 = 57単位
2.5ポイント以上	49単位 + 12単位 = 61単位
3.0ポイント以上	49単位 + 16単位 = 65単位

CAP制によって2年生や3年生の終了時であっても4年間での卒業が不可能になる場合がありますので、特に注意してください。

- ・ 3学年終了時に修得単位が74単位以下の場合、4学年でCAP上限の49単位を修得しても卒業単位である124単位に届きません。

*CAP制およびGPAの運用は必要に応じて修正することがあります。